

令和5年度第2回 伊那市総合教育会議会議録

- ◎招集年月日 令和5年9月22日（金）
◎開催日時 令和5年9月27日（水） 午後1時30分～午後3時06分
◎場 所 伊那市役所 庁議室
◎出席者 白鳥市長、笠原教育長、北原職務代理者、田畑委員、原田委員、黒河内委員
◎欠席者 なし
◎出席職員 三澤教育次長、宮下学校教育課長、北林子ども相談室長、矢澤生涯学習課長、早川市誌編さん室長、小島社会教育指導員、福與指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

1 開 会

三澤教育次長

定刻となりましたので、ただいまから今年度第2回目の総合教育会議を開会いたします。はじめに白鳥市長からご挨拶をいただきます。

2 市長あいさつ

白鳥市長

9月も間もなく終わろうとしており、だいぶ涼しくなりました。本日は大変お忙しい中、伊那市総合教育会議にご参加いただきましてありがとうございます。コロナ感染症については依然として続いているわけでありますが、注意を払いながら以前のように元気な子どもたちの声が響く教育現場に戻ってほしいと感じているところです。

一方でコロナ感染症によって顕在化した貧困問題、またひきこもりの状況については、全国的に大変大きな問題として捉えられておりますが、打開策として明快な答えはなかなかないというのが実情であります。

不登校の子どもは全国で25万人を超えるという数字も出ておまして、ますます増えていくだろうという中で、原因の究明と対応、さまざまな取り組みを伊那市でも進めていかなければいけないと考えております。

そうした中で、本日は、引きこもりに関わる状況について担当から数字を出してもらい、またヤングケアラーについても非常に私も心を痛めておまして、担当の職員から現状の話聞き、さらにNPO法人の子ども・若者サポートファミリーの戸枝理事長さんからもお話を聞かせてもらおうということでもあります。

子どもたちを取り巻く環境で私達が心を痛めている部分も多いわけですが、この会議の中でも大変重要な課題として捉えて、対応、対策、努力を続けてまいりたいと思っております。

本日は、なかなか時間の少ない中での会議になりますけれども、より良い会議になりますよう申し上げ、挨拶といたします。

三澤教育次長

ありがとうございました。続いて教育長からご挨拶をお願いします。

笠原教育長

第2回の総合教育会議。私ども教育委員会の運営方針の中に1人で確かに届くという言葉載せております。具体的には、学校は相談の働きを高めることや、あるいはアンケートの調査の方法を工夫することで、例えばヤングケアラーとされる子どもの存在を捉えることができるように

すること。そうしたことを願いながら続けているところでございますが、市長が行政の光が届くことで1人として取り残さないようにしたい、そのように言ってくださっていることが、私達にとっては大変ありがたく、背中を押していただけて、そんなふうにも思っているところでございます。

本日は現場で困難の中にある子どもたちに接している方々、支援をいただいている方々のお話をお聞きし、思いや願いを交換しあう機会となるようお願いしております。本日はよろしくお願いたします。

三澤教育次長

ありがとうございました。それでは協議事項に入りたいと思います。

ここからは市長の進行でお願いいたします。

4 協議テーマ 「困難の中にある子どもたちへの支援について」

----- 【非公開】 -----

5 閉会

三澤教育次長

ありがとうございました次回は12月を予定しております。

以上をもちまして総合教育会議を終了します。お疲れ様でした。